

教を所領一万余石民部へ下りとあり  
義光相持上山合戦の事下に里見被後  
在城とありとありハ是なり（一）婦子を民部  
といへり 家幼名を婦子 義光の嫡孫相持義光  
後者の名に害をこれあり後里見被後子細  
ありて上下五百人百兵一その後子細は入て  
入居となり又その後義光嫡一ありこれ義光  
のまゝとて父子切腹作付る。正見を教  
させく。花目ありといふ（一）初め付一万余  
七子石とあり義光元和記十二之巻曰松平

下野守忠卿全中誓方輝た初は出羽  
上山城に万石をとり（一）同年十一月  
五日入部とありその後三河殿井松平氏代り  
領之。尚山城守後より今ハ三万石に正  
徳文明義禮は金表た系三万石羽州上山  
とありに万石の因一万余石上げ内三子  
石金表後へ下りたりや

# 一白岩城

山形より小西里を去る岩地村の ちん 五村白  
岩村の山脈は城脈あり後太事記一と云